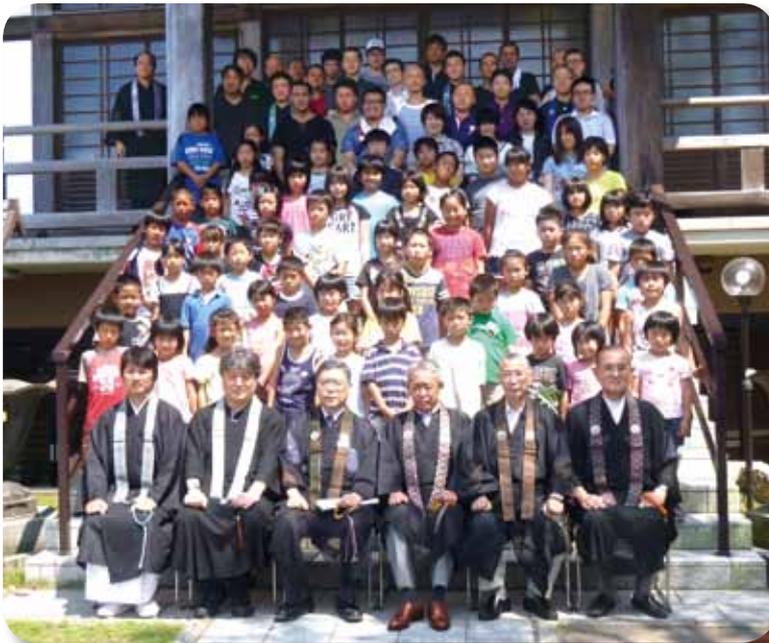




長照寺だより

わ げん あい ご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



お寺の臨海学校
(南ブロック門徒子弟研修会)
平成24年7月26日～28日

立浅草公会堂



門信徒会親睦一日研修旅行
創作劇
「親鸞 わが心のアジャセ」
平成24年9月1日

「人が何の苦勞もしないで徳を得る。その最上のことは、
弥陀を信じておまかせするだけで仏になるということである。
これ以上のことはない。」

蓮如上人御一代記聞書



葬儀を勤めるとは

住職 本持 信慈

葬儀をする意味は何でしょうか。世間では、葬儀の簡略化が進んでいるようですが、その背景には、葬儀の本来の意味が分からず、また考えもしないことがあるように思います。意味などどうでもよく、できただけ簡単に、しかもお金がかからないようにとの思いから、火葬場でご遺族だけのお勤めで済ませてしまうようなことを良しとするような風潮も、哀しい事に広まっています。ご葬儀に関わる事柄をすべてお金で解決しようとしているようで残念でなりません。

もともと葬儀とは、人類が人間としての社会を作り上げてきた中から生まれ、生活の中で形作られたものでした。人の死という絶対的な出来事に際して、当時の宗教のそれぞれの教えが儀式を通して表現されているのです。

現代社会に目を向けてみますと、葬儀は亡くなられた方のためのもので思われています。別の言い方をすれば参列している側の自分は脇役だと考えがちです。それならばお金がかからないようにと考えても仕方ないことです。

しかし実は葬儀は亡くなられた方のためではなく、残された者、私たちのためにいとなむものなのです。自分の都合中心の日暮らしを

している私たちは、やがて終りがくる命である事から目をそむけています。そんな私が、葬儀の場面で死と対面し、そこから生と対面するとき、自分の命の真の有り様を感じる事ができます。そして、生かされて生きている自分の発見があり、否応無しに命の繋がりを感ずるのです。

それは、故人がかけがえのない方ならば尚更の事です。しかし直接知らない方の場合でも何かを感じるでしょう。何故ならば、亡き方は自らの身を呈して死ということを示してください、そつと語りかけて下さっているからです。「たった一度の人生ですよ、しっかりと生き抜きましょう」と。このような思いでご葬儀を勤めたり、参拝することをお奨めします。

家族葬、直葬、密葬って何ですか。
こんな葬儀はありません。
どうぞお寺へご相談ください。

浄土真宗の葬儀に出席して

長照寺門徒 斎藤善治(世話人)・加代子

先日、長照寺で行われた知人の葬儀に出席しました。最近、葬儀に対する人々の考え方が大きく変わりつつあるなか、この葬儀がどのように行われたかを振り返りながら門徒として感じたことを記します。

厚生労働省のデータによると、日本人男性の平均寿命は七十九歳であり、これから平均余命を求めると私の例で十四年になり、老後の人生を真剣に考えるべき段階にあります。

そんな心境のなかで、今回の葬儀では、先ず通夜・葬儀の前段で流されたCDのナレーションの言葉が強く耳に残りました。「・・・葬儀の場面で死と対面し、そこから生と対面するとき、自分の命の真の有り様を感じることができません。そして、生かされて生きている自分の発見があり、否応なしに命の繋がりを感ずるのです・・・」と。生死の問題が身近にせまる私の胸には重く聞こえました。死んだらわたしはどこへいくのか、親鸞聖人が示してくださいました「生死出づべき道」とはどこにあるのか、どのようにしたら往けるのか・・・などしつかり考えるべきことをたくさん残したままにしているのです。

通夜の儀では、仏説阿弥陀経を誦読してお浄土の讃嘆を聞きました。死んだら、ここに示されたお浄土に往くと住職から聞かされていますが、消化できないまま頭に残っています。また、現実の問題としても、高齢化社会にあつて、自らの老後の人生設計の中で「自分の死」に関して解決しておくべき課題を沢山残しています。病氣、延命治療、介護、

生活費、・・・など。

これら老後の問題では、心の内面である信心の問題と実際の生老病死という生身の人間としての問題の両方を解決して死を超えなければならぬということになります。どうすればよいでしょうか。寺で聴聞を重ねるしか方法がないことをあらためて認識した次第です。

また、火葬場では、お骨ひろいの方法とその意義について住職からお話があり、参列者は全員が素手で拾い集めました。これも、先のナレーションにあつたように「命の繋がり」を感じずる場面になりました。こうすればなぜか悲しみではなく安心した気持ちでお浄土に往けそうな気分になっていました。火葬後の骨を素手にとって拾うという経験をjして、大変暖かい気持ちになりました。親族の方、ご住職はじめ同j寺に集う門徒さんたちの気持ちの中に絆が出来ていくような感覚を味わいました。これなら死は怖くないと感じました。

これは、「死んだらすべておしまい」なのではなく、もう還相回向により戻ってきた仏様が私たちに働きかけていたのかも知れません。世間では葬儀のあと財産相続の争いが話題になるようですが、私たち浄土真宗門徒にとって大事なのは「お念仏の相続」だと思います。自分の子や孫に間違いなくお念仏を相続できるように生きていきたいものです。

合掌

活動報告

平成二十四年度上期

初参式 平成二十四年四月一日

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝する
お参りです。

大橋 真凧(まな)君

※平成二十四年一月二日生

写真は8ページにも掲載



祝入園・入学慶讃法要

平成二十四年四月八日

「命のつながり、命の尊さ」を伝えていく
お参りです。

江越 美晴(みはる)ちゃん

※平成十七年六月十日生(小学校入学)

写真は8ページにも掲載



花まつり「お釈迦様の誕生日」

平成二十四年四月八日 ……五〇余名

お参り後、「三遊亭歌武蔵」師匠の落語を
楽しみました。

※力士より噺家に転身された師匠です。

写真は8ページにも掲載



第九回門信徒会親睦

ボウリング大会

平成二十四年四月二十二日

……ジョイランドみしま

優勝 土山 京子さん

準優勝 藤澤 博さん

第3位 松本 好子さん



門信徒会定期総会

平成二十四年五月六日

……五〇余名

おかげ様で、各議案ともご承認いただきました。

東京教区仏教壮年会研修会

平成二十四年五月十二日

……築地本願寺

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの
強化団体です。

第三十五回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十四年六月六日

……新・天城につかつゴルフ倶楽部

優勝 髭 数久さん

準優勝 近藤 勝信さん

第3位 佐藤 安弘さん

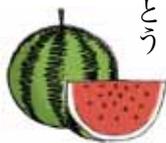


境内清掃作業・親睦懇親会

平成二十四年七月二十二日

…一〇〇余名

作業終了後のスイカの味は格別でした。
参加された皆様、本当にありがとうございました。
ございました。



お寺の臨海学校（南ブロック門徒子弟研修会）

平成二十四年七月二十六日～二十八日 …横須賀市

静岡・神奈川・山梨県内の小学校1年生～ 中学校3年生が集まり、
お寺で寝泊まりをしたり、楽しいプログラムを行いました。

写真は表紙、7・8ページに掲載

裏磐梯サマーキャンプwith

栢葉町の子どもたち

平成二十四年七月三十日～三十一日

…福島県（五色）パラダイスキャンプ場

被災され、仮設住宅に住まわれている、福島県栢葉町の小中学生を
キャンプ場に招き、楽しいひと時
を過ごしていただくための、お手
伝いをしてきました。



夏の子ども会 in 築地本願寺（少年連盟主催）

平成二十四年八月一日～三日

…築地本願寺

被災された福島県内にお住まいの
小中学生を築地本願寺へ招き、
楽しいひと時を過ごしていただく
ための、お手伝いをしてきました。



合同盆法要（全八回）

平成二十四年八月十三～十五日

…二三〇家族 六二〇余名

ご先祖様曰く「皆が元気であれしよ。
これからも頑張って楽しく生きてほしいな…」

門信徒会親睦一日研修旅行

創作劇「親鸞 わが心のアジャセ」

平成二十四年九月一日 …浅草公会堂

アジャセ王の心は、救われようのない
我が身の心を映し出してくれました。

写真は表紙にも掲載



HPより

秋季彼岸会法要

平成二十四年九月二十二日

…一三〇余名

ご講師 本持 信慈 住職

裏千家 淡交会 青年部の皆様のご協力
のもと、お呈茶をおこないました。



今 後 の 活 動 予 定

平成24年

10月14日(日)	門信徒のつどい(仏婦・仏壮研修会)	
10月24日～26日	門信徒会親睦研修旅行	岩手・宮城
11月1日(木)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	沼津ゴルフクラブ
11月18日(日)	報恩講・座談会・茶話会	本 堂
12月2日(日)	境内清掃作業	境 内
12月31日(月)	除夜会 本 堂	

平成25年

1月4日(金)	修正会・新年会	本 堂
1月12日～13日	ご正忌報恩講	西本願寺
2月1日～3日	末広和顔会展(作品発表会)	TMOホール
3月20日(水)	春季彼岸会法要	本 堂
4月14日(日)	寺報(第29号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)

末広和顔会展(作品発表会)のご案内

：平成二十五年二月一日～三日開催

今年度は、恒例の末広和顔会展(作品発表会)の年となります。平成十七年度より始まり、今年で第五回目となります。毎回、門信徒の皆様のご協力のもと、数多くのご力作が揃い、盛大かつ楽しく開催してまいりました。今回も作品の種類、点数等の拘りはありませんので、ぜひ多くのご出展をいただきたく、ご準備のほどをよろしくお願いいたします。

※要項等詳細は、後日ご案内いたします。



前回の末広和顔展(作品発表会)風景

お寺の臨海学校

(南ブロック門徒子弟研修会)

平成二十四年七月二十六日～二十八日

四年 石田 花凜

よこすかの『信誠寺』にお寺のりん海学校に行きました。

このキャンプで一番思い出にのこったことは、猿島という無人島に行ったことです。すいかわりをしたり、お友達と海水をかけ合ったりしました。猿島探検もしました。とても楽しかったです。

また、たくさんのお友達ができてうれしかったです。

スタッフ・サブリーダーのみなさまお世話になりました。

ありがとうございました。



キャンプの時、
お世話になりました。
ありがとうございました。
とても楽しかったです。
石田花凜



門信徒会

親睦一日研修旅行

平成二十四年九月一日

：浅草公会堂

創作劇

「親鸞 わが心のアジャセ」

参加された、ご門徒さんより、お礼のおはがきをいただきました。

久しぶりの雨のあとのさわやかな朝を過ごしております。
昨日は素直な一日を御用意下さりありがとうございました。
アジャセの話は以前漫画で知りましたが、親鸞さんとうっすらかきかき楽しめました。
演出家と俳優さんの作る舞台に感動しました。
又宜しくお願致します。

平成24年度上期の行事



初参式
(平成24年4月1日)
大橋 真凧(まな) 君



祝入園・入学慶讃法要
(平成24年4月8日)
江越 美晴(みはる) ちゃん



花まつり・落語の会
(平成24年4月8日)
三遊亭 歌武蔵 師匠



お寺の臨海学校
(南ブロック門徒子弟研修会)
(平成24年7月26日~28日)

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話／当山住職

朝7時40分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1~5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成25年4月発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人＝長島・菊沢・斉藤・園田